

みずほCustomer Desk Report 2019/03/08 号(As of 2019/03/07)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.70
TKY 9:00AM	111.62	1.1313	126.27	1.3180	0.7032
SYD-NY High	111.86	1.1320	126.42	1.3185	0.7051
SYD-NY Low	111.48	1.1177	124.69	1.3067	0.7006
NY 5:00 PM	111.59	1.1193	124.93	1.3082	0.7015
NY DOW	25,473.23	▲ 200.23	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,421.46	▲ 84.46	日本10年債	-0.0100	0.00bp
S&P	2,748.93	▲ 22.52	米国2年債	2.4744	▲ 4.07bp
日経平均	21,456.01	▲ 140.80	米国5年債	2.4412	▲ 5.71bp
TOPIX	1,601.66	▲ 13.59	米国10年債	2.6402	▲ 5.22bp
シカゴ日経先物	21080	-150	独10年債	0.0640	▲ 6.30bp
ロンドンFT	7,157.55	▲ 38.45	英10年債	1.1700	▲ 5.50bp
DAX	11,517.80	▲ 69.83	豪10年債	2.0735	▲ 3.05bp
ハンセン指数	28,779.45	▲ 258.15	USDJPY 1M Vol	5.60	0.33%
上海総合	3,106.42	4.32	USDJPY 3M Vol	6.09	0.19%
NY金	1,286.10	▲ 1.50	USDJPY 6M Vol	6.69	0.14%
WTI	56.40	0.18	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	180.87	▲ 0.36	EURJPY 3M Vol	7.06	0.38%
ドルインデックス	97.61	0.73	EURJPY 6M Vol	7.61	0.16%

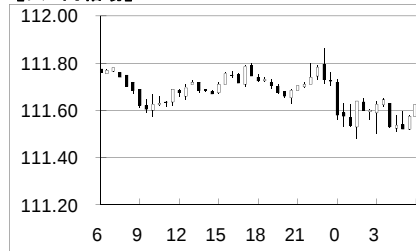
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月7日	09:30	豪 貿易収支	1月 \$4,549m	\$2,750m
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 0.1%	0.3%
	19:00	GDP(前期比/前年比)・季調済・確報	4Q 0.2%/1.1%	0.2%/1.2%
	21:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.0%/0.25%/-0.40%	0.0%/0.25%/-0.40%
	22:30	欧 ECBドラギ総裁「経済見通しに対するリスク、依然下振れ方向に傾く」		
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 223k	225k
3月8日	02:15	米 ブレイナードFRB理事「リスク上昇、金利軌道のやや下方修正正当化」		

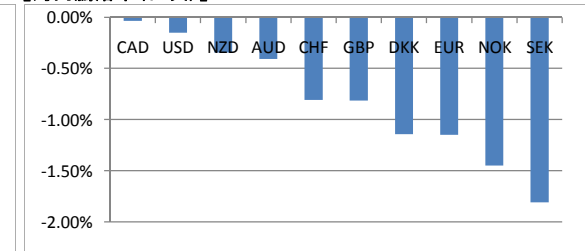
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月8日	-	中 貿易収支	2月 \$26.20B	\$39.16B
	16:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	1月 0.5%/-3.2%	-1.6%/-7.0%
	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	1月 1,195k/1,287k	1,078k/1,326k
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 180k	304k
	22:30	米 失業率	2月 3.9%	4.0%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.3%/3.3%	0.1%/3.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-112.10	1.1130-1.1250	124.00-125.30

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円はECB理事会でTLTRO III(貸出条件付き長期資金供給オペ)が決定されたことに加え、ドラギECB総裁の会見を受けたユーロ円の下落に連れ安となったことやブレイナードFRB理事の米経済に対するハト派な発言でやや押しされる場面が見られたが111円台後半でのレンジ推移となった。本日のドル円は米雇用統計次第ではあるものの下落した際の値動きの方が大きくなると思料。良好な結果となればドル買いで反応するものの、112円台で売り圧力が強い印象であることから上げ幅は限定的だろう。むしろ悪い結果となることで米景気の先行き不透明感から下げ幅を速める展開には注意したい。

東京	東京時間のドル円は111.62レベルでスタート。海外時間にECB理事会を控えて東京時間は様子見の展開。日経平均株価や中国株をにらみながら、111.70を挟んで揉み合い推移し、111.76レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.76レベルでオープン。材料少なく小動き。ECBが緩和策継続を決定し、ドルが対ユーロで買われ、ドル円も上昇する場面。111.80まで上昇したものの、ほぼ変わらずの111.75レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1306レベルでオープン。ECB政策決定を控えたLDN午前中は小動き。LDN午後になってECBが新たなTLTRO III(貸出条件付き長期資金供給オペ)を決定するとユーロが売られ、1.1275に低下し、1.1289レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3177レベルでオープン。プレジデントの不透明感が続く中で重い値動き。ユーロが下落するとポンドも連れ安し、1.3111まで下落。結局1.3124レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はECB理事会を控え、111.58~80での狭いレンジでの推移が続き、ECBが今回は発表されないだろうとの見方が強かったTLTRO III(貸出条件付き長期資金供給オペ)を発表したものの、ドル円の反応は限定的となり、111.75レベルでNYオープン。NY朝方は米新規失業保険申請件数が予想とほぼ一致し、ドル円の反応は限定的となる。ドル円は一旦111.86まで戻すが、ドラギECB総裁の会見を受けてユーロ円が下落する中、ドル円も連れて安値111.48まで下落。NY午後は111.65まで戻す局面もあったものの、ブレイナードFRB理事が「景気リスク上昇により金利軌道をやや軟化」「需要もやや弱まりダウンサイドリスクが強まった」等ハト派な発言が伝わったことから、111.50まで反落。NY終盤に掛けては8日の米雇用統計を控え、方向感の無い推移が続き、111.59レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1289レベルでNYオープン。ドラギECB総裁の記者会見では、今年と来年度のユーロ圏のGDP予想が下方修正、リスクは引き続き下向き、インフレ予想も19、20、21年すべて下方修正されたことに加え、政策金利の引き上げを20年3月まで据え置くことも議論されたことが明らかになった。同会見がハト派なものになってことからユーロ売りの流れになったことで1.1206まで下落。NY午後は狭いレンジでの推移が続くが、薄い取引の中、軟調な株式市場の動きを受けたユーロ円の売りに2017年の6月以来に1.12を下抜けし、安値1.1177まで続落し、1.1193レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:田家